

本年度の学校課題	<p style="text-align: center;">全ての子供の学びを支えるインクルーシブ教育 ～一人一人のニーズに応える個別最適な学びの充実を通して～</p>			
学校課題についての方考え方	<p>本校には、特別支援学級に在籍している児童、通級指導教室を利用している児童の他に、通常学級に在籍している児童の中にも、様々な困難さを抱え支援を必要としている児童がいる。そこで、令和3年度からインクルーシブ教育の充実を学校課題の柱とし、支援を必要とする児童を支える支援体制づくりや、ユニバーサルデザインに基づく授業づくりに取り組んできた。</p> <p>昨年度から、一人一人の教育的ニーズに応えるという特別支援教育の視点を生かし、支援を必要としている児童のみならず、全ての児童が自分に合った方法で学びを深めるために、研究課題を「全ての子供の学びを支えるインクルーシブ教育～一人一人のニーズに応える個別最適な学びの充実を通して～」とした。だれもが「分かる・できる喜び」を味わえる授業を実現するためには、子供たち一人一人の多様なニーズに対応する必要がある。また、そうした多様な学びを支えるのは、「誰かが違う」のではなく「誰もが違う」という、一人一人の違いが価値あるものとして受け入れられる、居心地のよい学級の雰囲気である。また、特別支援学級や通級指導教室での指導が通常学級において生かされることで、インクルーシブ教育における「多様な学びの場」の連続性が生まれる。全職員がインクルーシブ教育への理解をさらに深め、それぞれの立場を生かしながら連携することで、全ての子供の学びを支えていきたいと考える。</p>			
学校課題説明の手立てと実践項目	<p>1 学校課題の設定と課題説明の計画立案 研究主題、主題設定の理由、研究主題の捉え方、研究の仮説、研究の内容及び研究の方法、研究の組織、研究計画について検討する。</p> <p>2 課題説明のための研修 (1) 全体研修会（計画立案、課題についての共通理解、スキルアップ研修） (2) 研究授業および授業研究会 (3) グループによるミニ研修（研究教科の設定・指導案立案および授業準備、プレ授業の検討・環境整備等）</p> <p>3 学校課題の目指す児童像 学校生活を楽しみに登校し、認め合い、支えあう子ども</p> <p>4 研究内容 (1) だれもが「分かる・できる喜び」を味わえる授業づくり ア 課題設定の工夫 イ 自分に合った学び方を選択できる場の設定 ウ 一人一人の考えの違いやよさを生かす場の設定 エ 振り返りの工夫 (2) 居心地のよい学級づくり ア 自己肯定感・帰属意識を高める取組の工夫 イ 学級活動における話し合い活動の充実 ウ ユニバーサルデザインの視点を生かした環境づくり (3) 学びの場の連続性を生かす体制づくり ア 特別支援教育に関する研修の充実 イ 個別的教育支援計画・個別の指導計画の効果的な活用</p>			
学校課題説明のための計画内容	月	主な内容	月	主な内容
	4	・研究推進計画	10	・第2回研究授業に向けての指導案検討会 ・ミニ研修
	5	・配慮児童の情報の共有 ・研究内容の説明と確認 ・スキルアップ研修（個別の指導計画について）	11	・第2回研究授業及び授業研究会
			12	・スキルアップ研修（通級指導教室について）
	6	・第1回研究授業に向けての指導案検討会 ・ミニ研修 ・第1回研究授業及び授業研究会	1	・学力テスト結果分析 ・ミニ研修
	7	・スキルアップ研修（特別支援教育について）	2	・相互授業参観 ・本年度の研究のまとめ
	8	・全国学力状況調査、とちぎっ子学習状況調査の結果分析 ・学力向上改善プランの検討	3	・次年度の計画
	9	・スキルアップ研修（学習指導について）		